

ニルビリ コンプレックス Complex



18
For Adult

恋愛漫画家

前回までのあらすじ



実際、性的な目で見たことがあるのは事実だったが、だからっていきなり割り切れるはずも無くただ慌てていると、彼女はどんどん行為を進めていく。

流されるままに、御坂妹と繋がる当麻。

そして、その場面を御坂美琴は見ていた。

身体を張った妹の「お礼」の行為。
ならば自分も、身体を張るべきなのか？

だが「止めておけ」という当麻の言葉に反発して抱かれることを決意する。



当麻の部屋

次は激し目に
してほしいん
だけども…
あれ？

ふふ
いっぱい
出されちゃった

どうしたの？
疲れた？
賢者タイム
って奴？

もてない訳じゃ
ないけど
いいと思える
相手じゃないし

特別に…
に出会いが
ないし

…なによ
藪から棒に

いや…
散々やっという
なんなんだけど

お前
彼氏とかの
作らないの
かなって

ん…
だからって
俺がこうい
していいのかと…

ボウボ

ごちやごちや
うるさい!

バトル挑まれるのと
コレとどっちが
いいのよ!?

いや…
そりやまあ
なあ



私はあんたで
気持ちいいこと
知っちゃったん
だから…

責任
取りなさいよ



よし
オッケー
分かったよ

分かってくれれば
いいんだけどさ…
…ありがと





馬鹿…
あんたが節操無く
中で出しすぎなのよ

ん…
中はもう
ぐちゃぐちゃだな

さっきは
ゆっくり目にして
擦れる感じだったけど

今は濡れ過ぎで
摩擦感がないぞ



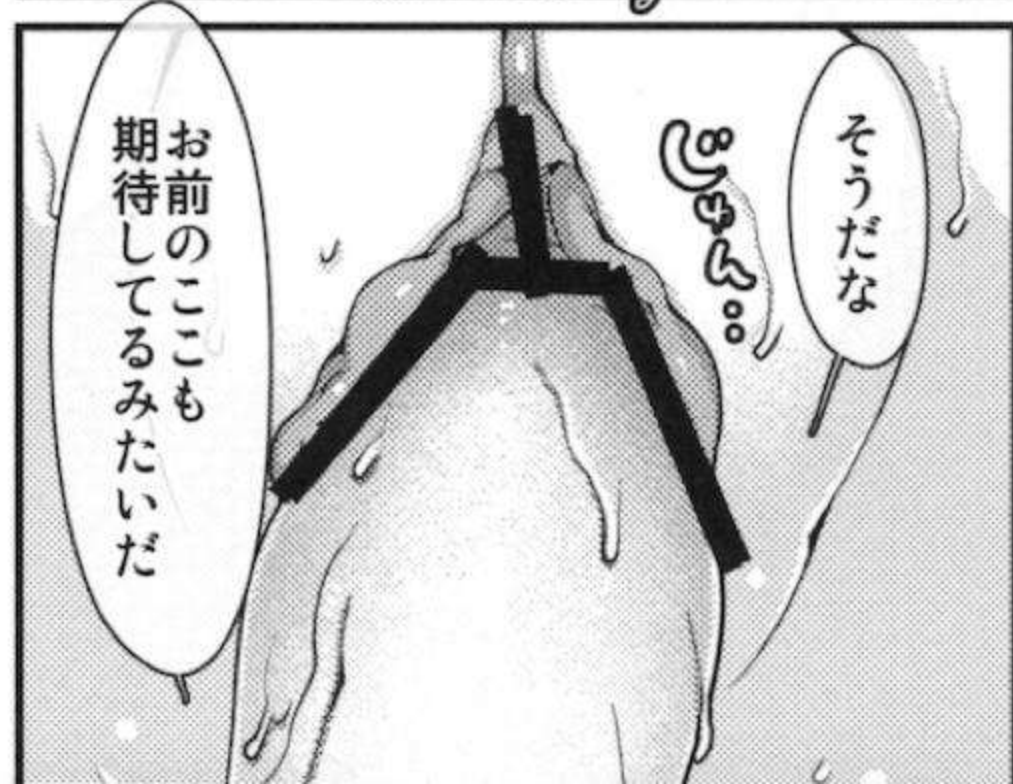
なによー
あんただって

ガチガチに
硬くして
こんなに
大きくして
興奮して
るじゃない



言ったでしょ

次は
激しい
目が



そうだな

お前の
ここも
期待して
るみたいだ







出されてる…
こいつに出されるの
気持ちよすぎ
やばいよ…

アしが中で
ビクビク動くのが
嬉しくなっちゃう…



んっ…



馬鹿…
こういう時は
優しくキスでしょ

やばい
精液が止まんねえ…



「ジャ、ジャッジメントですの…」

弱々しい、けどあまりにもこの場に似つかわしくない単語を聞いて、思わず玄関先を見つめる俺達。

あの娘だ。
ここにいるビリビリと同室の下級生。

「お姉様」と慕うほどだ、何か言われるかもしれない。
誤魔化そうにも、言い訳など出来ないそのままの状況。



ならば誠心誠意、心を尽くして説明すれば…あまり意味は無いか。

だが彼女は固まったままである。

こうなったら、こいつが彼女の脇をこっそり通り抜けていけば…
少なくともここでの惨劇は回避できる。
あとはこいつがいつもの調子で時間がたって多少頭が冷えるであろう彼女をうまくあしらえば…

「お姉様…これはいったいどういう事ですの？」

…まあ、さすがにしれっと脇を通って逃げるなんて無理だろうね。
ただ、彼女もまだ衝撃から立ち直れてないみたいで、呆然としている。

「あ、あんたこそ、どうしてここが分かったのよ！」
とりあえず逆切れして誤魔化そうとしてるが、残念ながら効果的ではない。

「この方が…連れてきて下さいましたの」
すると物陰から御坂妹。
無表情のくせに得意げな雰囲気
で親指を立ててる。
ぜんぜんグーじゃねーよと。

そして、茫然自失だった彼女が復帰した。



「ちょっとあなた、最初から説明してくださいまし！」

いきなり俺に詰め寄ってきた。

そういや何かで聞いた気がする。
女性は一般的に、パートナーではなく浮気相手を憎むと。
まあこの関係に恋人というものは存在しないから、正確には浮気は成立しないはずだが。
それでも、やはり彼女にしてみれば面白くないだろう。
敬愛する先輩が、どこの馬の骨とも知れぬ男と、引くぐらい濃い性行為をしてるのだから。

「よし、最初から説明するから落ち着いて聞いてくれ」

俺はとりあえず、事の経緯を話した。
話の途中、彼女は何度も何度も「あり得ませんわ！」とかつぶやいてたけど、何とか最後まで話聞いてくれた。

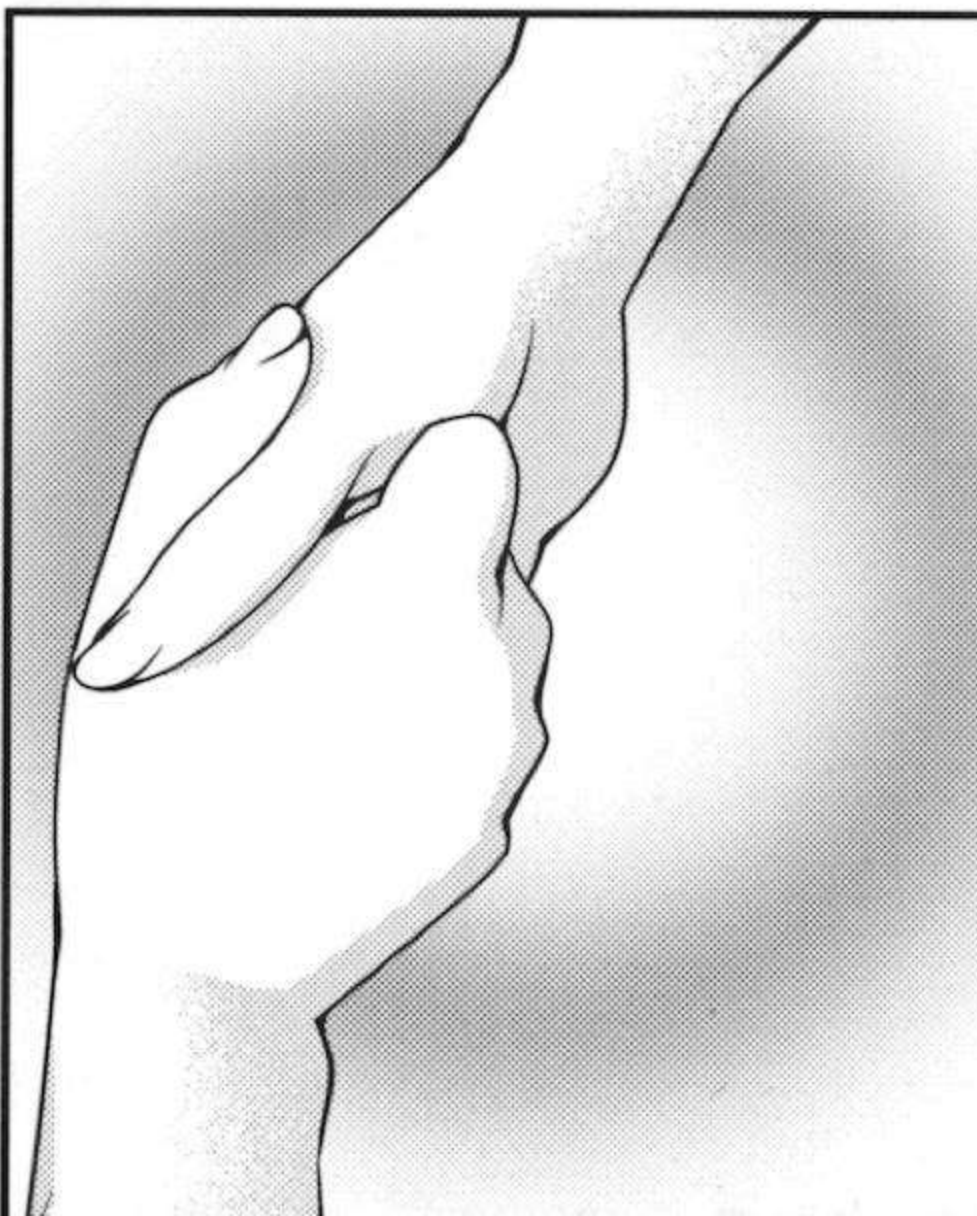
「…話は了解しましたが、お話にはならない言い訳ですわね」
あくまで高圧的にかかってくる。
「やはり寮監先生に報告してあなたを追放してしまわないと…」
なんて物騒なことまで言い出した。

「いやそれは俺たちも困るって言うか、どうせなら一緒に交ざるとか…」
すると、彼女が物凄い勢いでこちらを見て、凄まじいスピードで顔の表情の七変化を始めた。

そして数分後、表情が止まり大きなため息をついた。

「分かりましたわ。不本意ではありますが提案を呑みます」

そう言って、引きつりながら笑顔を浮かべ、そして手を差し出してきた。
俺も引きつり笑いで応える。
ギリギリの交渉成立だった。





長かった…
ようやくお姉様と
でいーぶなキッスを！



え…
えーっと
俺は
どうすれば？



とりあえず

揉めば
いいの？



！
ちよっ…



私の感じた
気持ち良さを

あなたにも
知ってもらって
共感してほしいの

だから彼に
してもらってみて



お…
お姉様…

…分かりましたわ



そうだ…
この子も
男を知れば…

ねえ黒子





あ…
そんな

黒子ったら
なんだかんだ言っ
て
気持ちは良さそう
じゃないの



自分で言っ
ていてなんだけ
ど
黒子がさ
変な感じね…

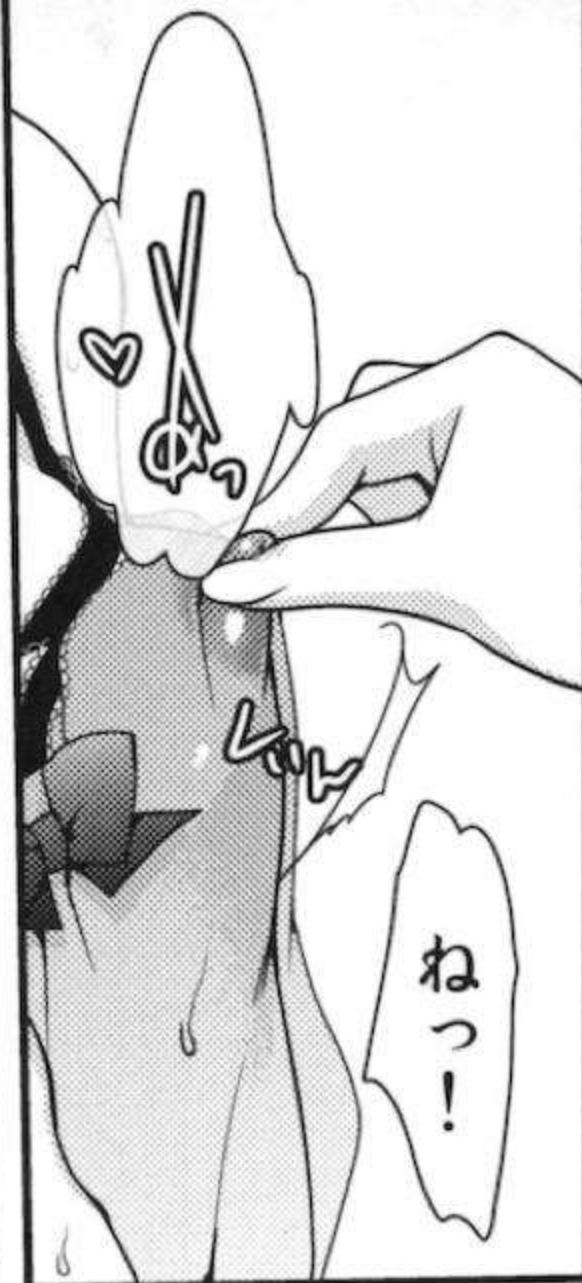
でも…見ててなんだか
ドキドキするような…

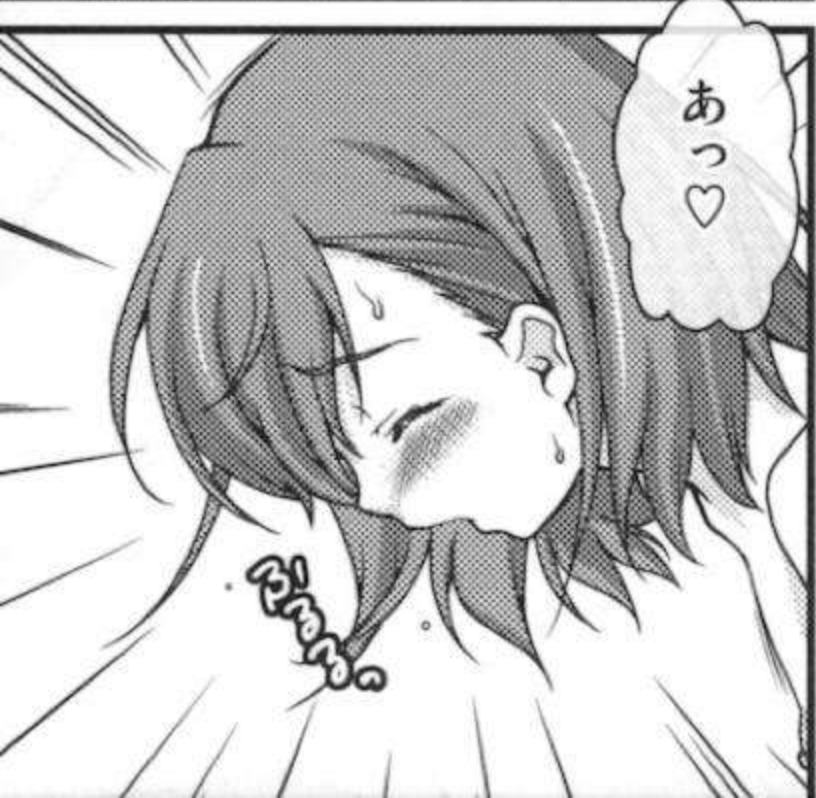


仲いいなあ

いやあ
そこは敏感
ですのに…

うりうり
感じるでしょ







あっ♡

はあ...さっしゅん
中で出られるのって
幸せを感じちゃっ...

ああ...こんな
後から後から
あふれ出るほど
膣内に射精される
なんて...

さすがにもう
お腹いっぱいだわ...

黒子やってみる？

そっそれは
さすがに
お断りですの！



読んでいただきましてありがとうございました！

超電磁砲本です！

と言っても、前作の禁書本の続きみたいな感じですが。

レールガンになってからも、当麻と美琴の絡みがあるたびに萌えてしまうので、ついその流れで描いてしまいました。

それにしても、開始当初、黒子の声を聞いた時はビックリしましたね。

コードギアスのネットラジオでMCをやった時の声そのままでしたからw

(正確に言うともうちょっと眠たげな声でしたが) いろんな声の出せる人なのに、まさかあの声で中学生を演じるとは…いやはやw

まあ、今は慣れてむしろあの声じゃなきゃですが。

さあ、次は禁書の2期だ！
…やってほしいなあ。

製作

恋愛漫画家

発行日

2009年12月30日

印刷

Power Print

連絡先

hironasu@mud.biglobe.ne.jp

HP

<http://www.renai-manga.com/>

無断転載・複製はお止めください



恋愛コンプレックス
Complex

RenAi-Mangaka presents.
For Adult.